



青少年交流団派遣(中国山東省)レポート

グローバルスキルを磨こう！

8月11日～16日、本校から2名の生徒が和歌山県の友好都市である中国山東省への青少年交流団派遣プログラムに参加しました。県内や現地での研修プログラムを通じて、中国の文化や習慣について理解を深めることができました。そして、**現地の人々との交流が何よりも大きな経験となり、将来の進路選択に活かしていきたい**という意欲を見せてくれています。

今後も海外での研修プログラムを紹介していきます。皆さんも**世界へ一歩踏み出し、自分の目で見て肌で感じ、多くのことを学ぶチャンス**をぜひ手に入れてください。

研修プログラムを通して学んだこと

今回のプログラムへの参加が初めての海外経験で、出発前は不安を感じていました。中国山東省での研修では、初めのうちは日本が恋しくなることもありましたが、最終日には現地での生活習慣が当たり前のように感じられました。**現地の方々の人柄はとても良く、思いや熱意が伝わり、もう一度訪れたいと強く思いました。**

現地のショッピングセンターでは、中国語が理解できずに困りましたが、店員さんはジェスチャーをつけながら何度も繰り返し教えてくれました。私も英語とジェスチャーを使って伝えました。このことから、**言語を勉強することがまず大切ですが、その次に大切なのは相手に伝えたいという気持ちであると感じました。**また、現地の大学生との交流を通して、**自分が将来どのような大学生になりたいか**ということについても想像し考えることができました。

2年6組 江川 茉那



中国について以前からニュースや SNS などでも色々調べていたが、実際に知らない土地で生活することに不安が少しあった。しかし、**自分の目で見て学ぶことができるという貴重な機会にめぐり会えて本当に良かった**と心の底から感じた。今回の研修で様々な場所を訪れ、経験したことが圧倒的に自分の視野を広げたように思える。

現地の方々は温かいおもてなしをしてくださり、とても嬉しかった。研修前に頑張って覚えた中国語を披露すると驚かれ、褒めていただいた。中国語で交流する楽しさが日に日に増していった。

今回の研修全体を通して、以前よりも**チャレンジすることに躊躇を感じなくなった**。今後はこの経験を活かして様々なことに挑戦していきたい。そのうちの1つが中国語をさらに学ぶことである。**自分には無理だとは思わずに、自分で最高の機会を掴み、最高の経験をしていきたい。**

2年6組 田中 菜々美